

## 【議案第 1 号】

### 2023 年度（令和 5 年度）経過報告

藤尾学区まちづくり協議会（以下、協議会と記します）の活動は、2021 年 10 月の設立総会以来 2 年 6 カ月が経過しました。2022 年 4 月からは、協議会が天津市よりコミュニティセンターの運営団体として指定を受け、従来の藤尾公民館を「藤尾コミュニティセンター」として、まちづくりに関わる活動を進めています。

また、各部会活動についても、協議会の活動目標としている『誰もが魅力を感じて住みたくなるまち』『毎日が安心して楽しく暮らせるまちづくり』を念頭においた事業計画を、地道ではありますが着実にすすめることができました。

以下に、その概要を報告します。

#### 1、藤尾コミュニティセンターの運営

2023 年度も、4 月 1 日付で「天津市」と当協議会がコミュニティセンターの運営業務について業務委託契約を継続して締結し、コミュニティセンターの活動をすすめました。前年度と同様にコミュニティセンター長は藤尾支所長の兼務で、協議会は従来の藤尾公民館の施設を管理運用する要員を雇用し日常の業務を遂行しました。

年間のコミュニティセンター業務従事者は 10 名で、雇用形態をパートタイマーとしてローテーションを組んで業務を遂行しました。また、運営管理に関して「コミュニティセンター運営委員会」を設置して、運営委員会はまちづくり協議会の専門部会と同等の位置づけで、協議会の活動の一翼を担いました。

## 2、まちづくり協議会の会議運営

### (1) 参加団体代表者会議（藤尾サミット）の開催

奇数月の第2木曜日の夜に、まちづくり協議会に参加している団体の代表者と、役員、部会長による情報交換、意見交換の会議を開催することとし、年間で6回の会議を開催しました。

### (2) 専門部会の開催

各専門部会は、所管・担当する事業の推進に関して部会長の判断により適宜開催して、担当事業を推進しました。各部会の開催状況や活動については、前述の藤尾サミットで報告し、協議会構成員全体で内容の共有を図りました。

## 3、事務局の運営

### (1) 市当局への各般にわたる連絡調整、他学区との情報交換、学区内担当者や参加団体と

の連絡のために、無線ルーター導入によるネットワークシステムをリース契約で導入し運用を行っています。

### (2) 事務処理の迅速化・効率化と経費節減を図るために、複合機をリース契約で導入して

いるほか、裁断機なども購入しました。これらの機材は学区内の各種団体にもご利用いただいています。

## 4、関係機関・諸団体との連携活動

### (1) 地域学校協働活動について

① 昨年度に大津市教育委員会から、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」をめざして、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行うモデル学区のとして指定をうけました。

藤尾学区では、学校に対する協力活動（「子ども学習ひろば」「校内グラウンドの開放」「スクールガード」）、郷土学習、ボランティア活動（「高齢者と関わり」「皇子山中学生のマルシェや夏まつりへの参加」）などで、他学区に先駆けた実績がありますが、学校運営協議会と連携して、この一年も協働活動の実が挙がるように努めました。

## ② 大津人実践講座への参画

大津市教育委員会の主催で、「地域への関心を高め、地域を愛する心を育み、地域づくりに貢献する人（大津人）」を養成する講座として、毎年「大津人実践講座」が催されていますが、本年度は藤尾学区で催されました。講座は、大津市広報で応募された方を対象に10月18日から、11月12日、12月3日、12月17日の4回の連続講座で開催され当協議会も企画・実行に参画しました。

## ③ 小学校ベルマーク収集活動などの取り組み

従来小学校PTAで取り組んでおられた「ベルマーク収集」や「プリンターインクカセットの回収」などを、学区全体の学校支援に広がるように取り組むこととし、コミュニティセンターのカウンターに回収ボックスを設置しました。

## (2)学区ふれあい給食について

高齢者の見守りを兼ねた「ふれあい給食事業」は、前年度までは学区社会福祉協議会と地区民生委員児童委員協議会の連携で実施されてきましたが、学区社会福祉協議会の運営体制の関係で従来通りの取り組みが難しくなり、今期から協議会が参画して事業を継続していくこととし、民児協と協議会の協働で事業をすすめました。

### (3)学区夏まつりについて

コロナウイルス感染対策の関係で2年間中断されていた「学区夏まつり」を開催しました。従来は学区社会福祉協議会が実行委員会の事務局事務などを主管してくださっていましたが、本年度から協議会が主管して実行委員会を運営しました。学区の各団体の中に若干の異動はありましたが、全ての団体の協力を得て学区民が楽しくふれあえる催しとなるよう努めました。

例年になく猛暑が続き、「熱中症警戒アラート」が頻繁に発令されましたので、予定していた開始時刻を17時から18時開始に変更し、カラオケ大会を中止することになりましたが、永興ふじおこども園の園児や藤尾小学校の児童の出演も得て盛会裡に終わることができました。

## 5、専門部会の活動について

### (1) 健やか安心部会（健やかに安心して暮らせるまちづくり部会）

#### ① 買い物難民対策

買い物難民対策については、前年度より引き続いて森田商店による稲葉台と大谷団地へ「移動スーパー」の出張販売と、大谷団地への「コープぜぜ」のお買い物サポートカー、藤尾奥町と稲葉台への「特別養護老人ホーム長等の里」のご好意によるイオンスタイル大津京への買い物サポートカーの運行を続けていただきました。

イオンスタイル大津京は、本年1月で閉店されましたので、行き先を「ランチ大津京」に変更してサポートカーの運行にあたっていただいています。

今後も、民生委員児童委員協議会の協力を得て、利用者とサポートをいただいている関係先との意見交換を行いながら、円滑な運営に努めたいと考えています。

## ② 交通弱者対策

買い物難民対策としての取り組みには一定の活動が見える形ですすめられましたが、一般的な日常の外出サポートも重要な課題です。京都市山科区小金塚地域で運行されている「小金塚循環バス」との相互利用を念頭に「小金塚循環バス運営委員会（ボランティアで運営）」と大津市の地域交通政策担当部門と当部会の三者協議を行いました。大津市当局はボランティアによる運営のリスクを恐れて参加に消極的なために進展が見られませんでした。

## ③ 見守り支え合う地域づくり

見守り支え合う地域づくりを目指す活動では、誰もが向き合わねばならない介護の課題について、前年度から催している『知ってトクする介護のいろは』のタイトルでの研修を、本年も継続してシリーズで開催しました。

(開催に当たっては、今年度も自治連合会を通じて全戸に開催の案内チラシを配付して啓発を行いました。)

◇ 第4回 2023年 6月25日(日)「介護保険とケアマネージャー」

◇ 第5回 2023年10月22日(日)「知りたい聞きたい認知症について(第1回)」

◇ 第6回 2024年 2月11日(日)「知りたい聞きたい認知症について(第2回)」

※第5回からは『藤尾コミュニティセンター講座』として、コミュニティセンターと部会の共催として実施しました。

また、講座のあとで「介護についてみんなで話しませんか!!」として、介護カフェを開催し、参加者の話し合いの場を持つこととしお互いの悩みや意見交換を行いました。

## (2) 歴史文化部会（学区の歴史に学び新しい文化を発信する部会）

### ① 歴史文化講座（第1回）

11月3日に「藤尾の車石・車道」のテーマで、久保孝氏（車石・車道研究会代表）をお招きして閑栖寺において歴史文化講座を開催しました。

### ② 学区文化祭の開催

公民館利用者団体や学区内の活動家などと連携して文化祭実行委員会を結成し、コミュニティ深化部会の「第5回ふじおマルシェ」や人推協「人権映画上映会」と連携して、2023年11月3日(金・祝日)～5日(日)にコミュニティセンターを会場にして学区文化祭を開催しました。また、11月4日には、健康推進連絡協議会による「かやくご飯」の販売も行われました。

展示には、公民館利用団体の作品の他に、学区内の団体や個人、永興藤尾こども園・藤尾小学校・皇子山中学校の園児、児童、生徒の作品が出展されました。

3階大会議室のステージでは、公民館利用団体の発表の他に永興藤尾こども園の園児の演技、学区内居住者の演奏が行われ、満員の盛況でした。

### ③ 新藤尾マップの作成

新しい藤尾歴史マップの作成については、自治連合会を通じて各単位自治会で回覧により情報提供をお願いするとともに、コミュニティセンターに情報を書き込めるように現行の歴史マップを掲示しました。次年度は、これらの手法で得た情報も参考に新しいマップ作成をすすめます。

### (3) コミュニティ深化部会（地域コミュニティ深化部会）

① 前年度に続き、「ふじおマルシェ」を開催しました。

◇第4回 2023年5月28日（日）（主会場：市民センター駐車場）

好天に恵まれ、480名の参加が得られました。

出店数：17店舗（飲食店-10店、野菜・食材販売-3店、ゲーム他-2店、  
ワークショップ-1店、ウエルネット展示）

◇第5回 2023年11月5日（日）（主会場：市民センター駐車場）

文化祭と連携した開催で、来場者は350名でしたが、学区民のふれあいの深化にも大きな成果を挙げることができました。

② 地域の居場所づくりをめざし、アンケートによる実態調査を行って学区内各地域のニーズの把握に努めるとともに、藤尾奥町の普門寺の協力を得て、前年度に続きふれあいサロンを開設しました。

◇ 第2回「憩いの場ふじお」

・期日 2023年4月29日（土・祝） 13:00～15:00

・内容 カフェスペース、楽器演奏、介護・健康相談

◇ 第3回「憩いの場ふじお」

・期日 2023年9月30日（土）

小中学生による子ども会議を開催して、子どもたちの発案によるサロンを開設しました。チラシの作成からサロンの準備、開設・運営まで子どもたちが主体的に活動してくれました。

・内容 マジックショー・ビンゴゲーム・屋台店(和菓子/ドリンク/たこせんべい)

#### (4) 広報IT委員会

##### ① スマホの研修会

今日では日常生活にスマホが欠かせないツールになっていますが、高齢者の年代ではスマホの操作から取り残されている人たちが多く見受けられることから、前年度に続き「スマホのいろは」のタイトルで、質問や相談コーナーも含めた講座を開設しました。

◇ 第1回目 2023年11月9日(木) 14:00～16:00

◇ 第2回目 2023年12月7日(木) 14:00～16:00 (11月9日の復習会として開催)

◇ 第3回目 2024年1月11日(木) 14:00～15:30 15:30～17:00 (2部入替え制)

◇ 第4回目 2024年1月25日(木) 14:00～15:30 15:00～17:00 (2部入替え制)

##### ② 協議会ホームページ作成の取り組み

当協議会の活動などをホームページで紹介する取り組みをすすめるために、広報IT部会で検討を重ねましたが、運用開始にまでは至りませんでした。サンプルで作成したホームページは未完成なものですので、今後各部会の協力を得て掲載内容を精査し、体制も整えていきます。

※サンプル HP <https://kayoji2024.com>